

令和4年度  
(2022年度)

## 市長公室の取り組み実績

<部長の方針・考え方>

- ◆ “伝えた” から “伝わった” へ、  
“提供した” から “役立った” へ、  
そして “ヒトゴト” から “ジブンゴト” へ。  
すべては市民の幸せのために、、、

2年に及ぶウィズコロナで経験を活かし、常に市民と向き合い、寄り添い、思いを共有して、「誰一人取り残されないまちづくり」を目指し、市長公室全職員が結束し、積極的かつ創造的に施策を展開する。

- ・ ユーザビリティ、情報発信力の強化に向けた全庁的な体制の構築
- ・ 市制75周年・大阪万博開催を見据えた、市民をつなぐシティプロモーションの推進
- ・ 「(仮称)人権施策基本計画」の策定と合わせ、お互いを思いやり、多様性を認め合い、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを効果的・総合的に推進
- ・ 多様化する相談内容に対応するため、オンライン相談を導入するとともに、一人ひとりの思いに向き合いながら「市長への提言」を効果的に市政に反映する。
- ・ 地域活動の担い手不足等の課題解消に向け、大学との連携やICT活用の検討

### 重点的な取り組み：情報発信力を全庁的に強化する体制の構築

市の発信する情報が市民にわかりやすく適切に届けられるよう、広報紙や市ホームページ、SNSなど多様な情報発信媒体の効果的な活用に向けた庁内横断的な検討体制を整備し、情報発信力の底上げを進めます。また、外国人等に向けた情報発信力の強化を図るため広報ひらかたで使用している多言語アプリ「カタログポケット」について、市の各部署で発行するチラシやリーフレットなど全庁的に活用できるよう、事務手続きの整理や関係各課との調整等を行います。

<b>実績</b>	<p>①市が発信する多様な情報が市民に的確に伝わること、全庁的な情報発信力の強化を目指し、庁内委員会である「情報発信施策推進委員会」の取り組みを推進。</p> <p>②デジタルサイネージを活用したプッシュ型の情報発信を実施。</p> <p>③多言語アプリのより効果的な活用に向けて、幅広い冊子・リーフレットを掲載できるよう事務手続きを整理し、積極的な活用を呼び掛けた。</p>
<b>説明</b>	<p>①庁内横断的に情報発信について研究・議論を行うワーキングチームを設置し、令和5年3月に市の情報発信の基本的な考え方となる情報発信ガイドライン（マインド編）を作成しました。また、「伝える から 伝わる へ」をテーマに、庁内の情報発信に係る意識改革を図るため、プレゼンテーションの世界的第一人者ガー・レイノルズさんを講師に招き、全職員を対象に情報発信研修を実施しました。</p> <p>②令和5年2月から新たに設置されたニッペパーク岡東中央のデジタルサイネージでまちの魅力発信につながる動画などを配信し、通りを歩く市民などに向けた積極的な情報発信を行いました。</p>

	<p>③10言語に対応する電子書籍アプリ「カタログポケット」について、窓口での説明ツールに用いるなど多言語対応の機能性を生かした効果的な活用方法を整理したうえで、庁内各部署に向けて積極的な活用を呼び掛けました。</p>
--	---

**重点的な取り組み：市制 75 周年・大阪万博開催を踏まえたシティプロモーションの実践**

市制施行 75 周年記念にあわせ関連事業の PR 戦略を関係部署と連携し、効果的に推し進めるとともに、2025 年の大阪万博開催も見据えた取り組みにつなげられるよう組織横断的な体制のもとプロモーションを進めます。また、同記念事業として市テーマソング「この街が好き」を市民ら 1000 人で合唱するイベントを実施するとともに、令和 4 年 3 月にオープンしたシティプロモーションサイトにおいて魅力あるコンテンツの充実を進め、市の魅力を効果的に伝えることで誰もが暮らしたくなるまちをめざします。

<p><b>実績</b></p>	<p>①市制施行 75 周年記念事業として、枚方市総合文化芸術センターにおいて市テーマソング「この街が好き」を 1000 人で大合唱するイベントを開催。</p> <p>②「NIKKEI 全国社歌コンテスト」に市テーマソング「この街が好き」で参加し、日本一となる最優秀賞を受賞。</p> <p>③庁内連携のもと、「ひらかた万博」PR 動画の制作や市制施行 75 周年記念オリジナルナンバープレートのデザイン制作と記念イベントを開催。</p> <p>④シティプロモーションサイト内に子育て世代の定住促進に関するコンテンツを充実したうえで、ウェブ広告から同サイトへの誘導を図るウェブプロモーション事業を試行的に実施。</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>①市テーマソング「この街が好き」の合唱イベント「1000 人で大合唱」を通して、市民にはまちへの愛着を深め、また、市外の人には枚方市への興味・関心を高める取り組みを進めました。当日は手話やボディーパーカッションでの参加、友好都市などからのウェブ参加など多様性を表現する新しいスタイルのイベントを実現。また、当日の様子を配信したアーカイブ動画は 1 万 2000 回以上の視聴がありました。</p> <p>②「NIKKEI 全国社歌コンテスト」にエントリーする PR 動画の制作に地域や幼稚園・保育園の夏祭りに出向き、多くの市民に撮影協力をいただいた結果、日本一となる最優秀賞を受賞することができました。受賞後は複数のメディアに取り上げられ、枚方市の認知度向上につながられました。</p> <p>③大阪・関西万博を見据えた PR 戦略の実践として「ひらかた万博」プロモーション動画を制作するとともに、市制施行 75 周年を記念したオリジナルナンバープレートのデザイン制作や PR のための記念イベント開催に取り組みました。それぞれ関係部署との連携を図りながら、市の魅力向上とまちへの愛着醸成につながる効果的なプロモーションとなるよう実施しました。</p> <p>④公民連携による実証実験の取り組みとして、子育て世代をターゲットに枚方市</p>

	への移住を訴求する Google 広告を令和5年2月1日～28日に配信し、シティプロモーションサイトへのアクセス数等の動向を検証する実証実験を公民連携により実施しました。本広告の掲載により、プロモーションサイトへのアクセスは通常時の約90倍となる約75,000件となったほか、都市部を中心に全国から幅広くアクセスされるなど大きな広告効果が得られました。
--	--

**重点的な取り組み：人権施策を推進する取り組み**

人権問題の多様化・深刻化が進む中、新型コロナウイルス感染症に関する誹謗中傷や偏見・差別、SNSへの心無い書き込みなど、新たな人権課題への対応が求められています。

こうした状況を踏まえ、様々な人権問題に対応する施策を効果的・総合的に推進するため、「(仮称)人権施策基本計画」を策定します。

また、計画の実効性を高めるため、あらゆる人権侵害を許さないという市の姿勢を発信するとともに、人権問題の分野ごとに本計画に基づく取り組み状況を確認するとともに、人権施策を推進していきます。

<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①令和4年6月「枚方市人権尊重のまちづくり基本計画」を策定し、人権施策を効果的・総合的に推進。</li> <li>②計画に記載している人権問題ごとに市ホームページを作成。</li> </ul>
<b>説明</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①人権施策を効果的・総合的に推進するため、令和4年6月「枚方市人権尊重のまちづくり基本計画」を策定し、各人権問題の現状と課題、取り組みの方向性などを示しました。今後は、計画の進捗管理を行い、人権尊重のまちづくりを効果的・総合的に推進します。</li> <li>②計画に掲載している人権問題ごとに市ホームページを作成し、「あらゆる人権侵害を許さない」という市の姿勢を発信しました。</li> </ul> <p>引き続き、人権問題ごとの取り組みを発信します。</p>

**重点的な取り組み：性的マイノリティへの支援に係る取り組み**

性的マイノリティへの偏見、差別の解消に向け、性の多様性について正しい理解を促進するため、引き続き、市民を対象とした啓発事業のほか、関係機関と連携し、子ども、事業者への働きかけを行います。

また、性的マイノリティ支援として導入しているパートナーシップ宣誓制度について、宣誓者の負担を軽減できるよう、大阪府と府内でパートナーシップ宣誓制度を導入している本市を含めた7市間において、相互連携協定の締結に向けた協議を進めていきます。

<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①性的マイノリティへの偏見、差別の解消に向けた市民への啓発イベントを実施。</li> <li>②市内の小学生及び市内事業所に向けた啓発を実施。</li> <li>③パートナーシップ宣誓制度の府内自治体間連携協定を締結。</li> </ul>
<b>説明</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①男女共生フロア・ウィルのイベント「ウィル de シネマ」において、トランスジェンダーの少年とその家族を描いたドキュメンタリー映画「リトル・ガール」の上映会を実施し、106人の参加がありました。参加者には、本市で作成して</li> </ul>

	<p>いる性の多様性への理解促進を図るための冊子等を配布し、更なる啓発に努めました。</p> <p>②教育委員会と連携し、市内の小学6年生に本市作成の啓発冊子「ありのままにじぶんらしく」を配布しました。また、北大阪商工会議所のメールマガジンにおいて、本市作成の事業所向けハンドブック「ありのままにじぶんらしく働く」の情報提供を行いました。</p> <p>③パートナーシップ宣誓制度を導入している、大阪府と本市を含む府内8市（大阪市、堺市、貝塚市、枚方市、茨木市、富田林市、大東市、交野市）において協定を締結し、転入出を伴う転居時における手続きについて、当事者の負担軽減を図りました。</p>
--	---

### 重点的な取り組み：男女共同参画を推進する取り組み

ジェンダー平等の実現に向け、第3次男女共同参画計画改訂版に基づき、性別を理由とする差別や不平等、暴力をなくすため、性別役割分担意識の解消やDV防止に向けた啓発、政策及び方針決定過程への女性参画の促進など、ジェンダーギャップを埋めるための取り組みを進めます。

特に、身体的性差への理解促進は、男女共同参画推進の基盤であることから、その性差を踏まえた女性の負担軽減につながる取り組みの一つとして、市庁舎等への生理用品の無料配置を進めます。

<p><b>実績</b></p>	<p>①第3次男女共同参画計画アクションプログラム進捗状況の確認作業において、全職員への男女共同参画に係る意識啓発を実施。</p> <p>②市庁舎等への生理用品の無償配置に向けた実証実験を実施。</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>①具体的な参考例を示した「男女共同参画の視点チェックシート」を用いて、職員各自が所管事業において、固定的な性別役割分担について意識するよう、働きかけました。</p> <p>②身体的性差への理解促進及び女性の負担軽減につながる取り組みとして、市の施設のトイレにおいて、生理用品の効果的な配置方法を検討するために、実証実験を実施し、令和5年度本格実施に向けて取り組みました。今後は、配置施設の拡大に向け、取り組みを進めていきます。</p>

### 重点的な取り組み：広聴相談体制の強化・充実

ウィズコロナ社会での市民の不安や悩みにしっかり寄り添い、多様化する相談内容にも幅広く対応していくため、昨年度に試行導入したオンライン相談の本格導入に取り組むなど、さらなる相談体制の充実を図ります。

また、社会状況がめまぐるしく変化する中、多様化・複雑化する市民の不安や悩みに引き続き耳を傾けるとともに、市民から寄せられる「市長への提言」については、担当部署と連携しながら一人ひとりの思いに向き合い、効果的に市政へ反映できるよう取り組みを進めます。

<p><b>実績</b></p>	<p>①弁護士、認定司法書士による「法律相談」について、オンライン相談を実施。</p> <p>②民法・不動産登記法の改正に伴う市民からの問い合わせが増加傾向にあることから、司法書士による「登記相談」の日程を月2回から4回に拡充。</p> <p>③市ホームページ「市長への提言」の掲示を1つ手前の階層に引き上げ、市民に分かりやすくしたうえで、提言の趣旨と市の考え方を公表。〈対応件数：207件〉</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>①令和3年11月から開始した「生活相談」および「交通事故相談」の実施に続き、令和4年7月からは、「法律相談」についてもインターネット予約とオンライン相談を開始しました。令和5年度は、相談体制の一層の充実に向け、大阪司法書士会と連携しながらオンラインによる「登記相談」の実現に向けた取り組みを進めます。</p> <p>②令和3年に所有者不明土地等の発生予防と利用の円滑化の両面から総合的に民事基本法制が見直され、令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化されることに伴い、市民からの登記に関する相談に対し円滑な相談体制を整えました。</p> <p>③多様化・複雑化する社会状況において、市民から寄せられたご意見については、担当部署と連携しながら迅速・丁寧な対応に努めました。またそれらの意見を行政に反映できるよう、引き続き取り組みを進めます。</p>

**重点的な取り組み：地域活動活性化の推進**

コミュニティや自治会においては、活動の担い手不足や役員への業務の集中等が課題となっています。

これらの課題を解決するため、枚方市コミュニティ連絡協議会と連携して、運営面でのアドバイスや、担い手不足解消に向けた大学との協働、また、現在、紙で行うことで仕分けによる負担や周知に時間を要している回覧のICT化について検討するなど、地域活動活性化の推進に向け取り組めます。

<p><b>実績</b></p>	<p>①コミュニティ、自治会運営ハンドブックを作成。</p> <p>②コミュニティ・自治会運営の支援相談窓口を設置するとともに、コミュニティ・自治会運営講習会を開催。（運営の支援相談23件、運営講習会2件）</p> <p>③地域の課題解決に向け、1校区が摂南大学と協働の取り組みを進めた。</p> <p>④LINEを活用した情報共有のICT化を進めた。（令和5年3月末時点で17校区実施）</p> <p>⑤本市が事務局を務める枚方市コミュニティ連絡協議会の会議等に係る連絡にLINEWORKSの活用を進めた。</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>本市が事務局を務める枚方市コミュニティ連絡協議会にて「地域活動活性化の推進」「地域における情報共有のICT化の推進」が令和4年度の活動目標に掲げられ、同連絡協議会と連携し、上記実績に係る事業を推進しました。</p> <p>次年度以降も改善を重ねながら同協議会と連携し取り組みを進めます。</p>